

# 環境キャラクターの有効性： キャラクターの擬人的認識の観点から

○新井智 松永貴寛 本藤祐樹 (横浜国立大学)

## 要点

- ✓ 本研究では、環境キャラクターに対する擬人的認識（人間的特性の認識）として、単なる人としての認識【擬人的認識(一般)】の他に地域と関連する人としての認識【擬人的認識(市民)】が抽出された
- ✓ 擬人的認識の種類によって、太陽光発電の受容への働きかけ方は異なった。擬人的認識(一般)は、環境意識を一部介して太陽光発電の受容を高めるが、擬人的認識(市民)は、環境意識を介さずに太陽光発電の受容を高める

## 背景・目的

- ・市民への環境情報の提供場面でキャラクターが頻繁に活用
- ・しかし、キャラクターによる働きかけの有効性やキャラクターが個人の意識・行動に働きかけるプロセスの調査は不十分

キャラクターが個人の意識・行動に働く理由として、キャラクターが視覚的に人に似ており、**擬人的認識**を促す可能性に注目

非人間的存在に人間的特性（意思や感情）を認識すること  
環境意識・環境配慮行動と関連する

環境キャラクターが人々の環境意識・環境配慮行動に与える影響を擬人的認識の観点から明らかにしたい

## 方法

- 2021年1月に飯田市の市立保育園に子どもを通わせている保護者（n=661）を対象に質問紙調査
- 調査項目
  - ・対象キャラクターの印象(擬人的認識を含む)
  - ・環境意識
  - ・太陽光発電の受容（以下PV受容） etc.

### 対象キャラクター：さんぽちゃん

- ・長野県飯田市のNPO法人「南信州おひさま進歩」のマスコットキャラクター
- ・本NPO法人は、南信州の市立保育園や公民館に太陽光発電の普及活動をしている
- ・保育園での環境教育場面で活用



- 調査結果から擬人的認識について尺度を作成し、擬人的認識がPV受容に与える影響や働きかける心理的プロセスを分析する

## 結果

- さんぽちゃんの印象(9項目) について因子分析
  - ・因子分析の結果、3因子を抽出。質問項目の内容をもとにそれぞれの因子を解釈

2種類の  
擬人的認識を抽出

さんぽちゃんの印象に関する質問項目	因子1	因子2	因子3
飯田市民の一員であると感じる	.83	.03	.06
飯田市の自然を守りたいという気持ちが伝わってくる	.83	-.03	-.02
太陽光発電を広めたいという気持ちが伝わってくる	.81	-.01	-.03
喜びや悲しみなどの「感情」を持っていると感じる	-.15	.52	.21
物事の良い悪いを判断できると感じる	.12	.74	-.18
悲しむ姿を想像すると、悲しくなる	.05	.66	-.05
親しみを感じる	-.05	.03	.85
愛着を感じる	.39	.15	.40
よそよそしく感じる(逆転項目)	.06	-.11	.39

因子1  
さんぽちゃんの感情や主体性の認識  
ただし、質問内容が飯田市と切り離せない  
飯田市と関わりのある人として認識する程度  
**擬人的認識(市民)**

因子2  
さんぽちゃんの感情や主体性の認識  
先行研究の擬人的認識と一致

単なる人と認識する程度  
**擬人的認識(一般)**

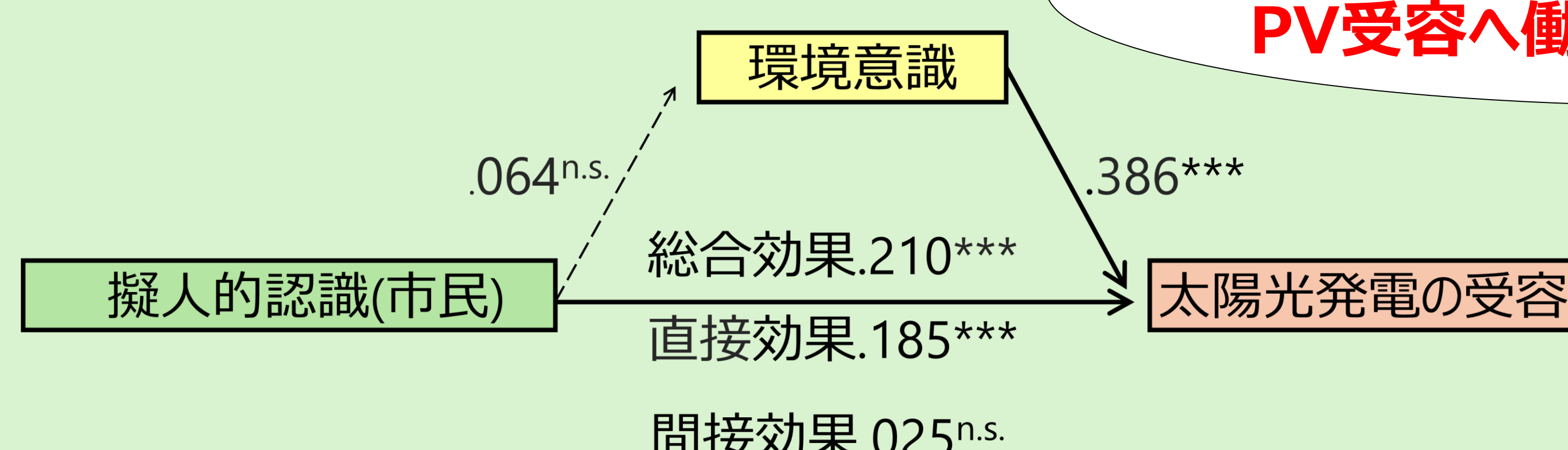
因子3  
さんぽちゃんを親しく感じる程度

近接性

※太字は因子負荷量が0.35以上

- 心理的プロセスの分析
  - ・環境意識による媒介を想定

擬人的認識の種類によって  
PV受容へ働きかける経路が異なる



- 擬人的認識(市民)は**環境意識と無関係**にPV受容を高める  
→ 地域愛着などの他の変数が媒介する可能性がある



- 擬人的認識(一般)は**環境意識を介して**PV受容を高める

\*\*p<.01 \*\*\*p<.001

本研究は、JSPS科研費JP19K12457の支援を受けている